

令和4年度福生市教育方針〈要旨〉



石田 周 教育長

現在、気候変動がもたらす持続可能性の危機や、少子高齢・人口減少の進行等、私たちは予測不可能な変化の中で、未来を切り拓いていかなければなりません。さらに、新型コロナウイルスによって私たちの暮らしには大きな影響が生じています。時代を切り拓くカギは「人」です。福生市が、これからも継続して、和と洋の文化あふれるまち、水と緑のあふれるまちとして、住んでよかつたと市民の皆様

に思っていただけのために、「教育」は最も重要な役割を果たすと考えます。そして「教育」は子どもたちの将来の可能性を最大限に引き出す力を持っています。誰一人取り残すことなく、すべての子どもが社会で大切にされ、支えられ、笑顔で伸びる・育つ環境を目指します。そこで、令和4年度においても、教育のデジタル・トランスフォーメーション、DXを強力に推進し、個別最適な学びと、協働的な学びなど、「令和の日本型学校教育」を実現するとともに、

学校教育重点施策

- (1)「令和における福生市立学校の在り方検討委員会」を設置し、小中一貫校の意義等、教育施策について検討
- (2)一人1台貸与したiPadを一層活用するとともに、デジタル教科書活用研究を推進
- (3)立川市に開設されるTOKYO GLOBAL GATEWAYにおいて、小5、中2児童生徒全員が生きた英語を体験
- (4)就学前教育と小学校教育との円滑な接続に関する研究の推進
- (5)「ふっさっ子学習・生活スタンダード」の活用促進
- (6)「福生市立学校の体力向上策」による体力向上の一層の推進

社会教育重点施策

- (7)不登校特例校分教室7組の知見を活かした不登校対策の推進
- (8)コミュニティ・スクール総会5月14日開催
- (9)学校給食では、食育の推進やアレルギー事故未然防止対策を徹底
- (1)「中央図書館改良事業」に着手し、長寿命化・バリアフリー化の促進
- (2)さくら会館に中央図書館臨時窓口を開設
- (3)中央図書館の休館に伴い、福生市郷土資料室の事務所機能の一部を、旧ヤマジユウ田村家住宅に移設
- (4)「福生市スポーツ推進計画」に基づきパラスポーツ体験事業を実施
- (5)中3生徒を対象に、進学指導に特化した放課後学習支援「スタディ・アシスト事業」を実施

「誰一人取り残さない福生市の教育」を目指し、令和4年度も福生市の教育の持続、発展に組織一丸となって取り組んでまいります。

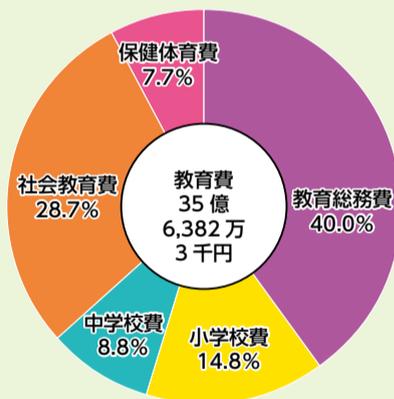
令和4年第1回市議会定例会(3月1日本会議)において、石田教育長が述べた令和4年度福生市教育方針の全文は、福生市教育委員会ホームページに掲載しております。

令和4年度の実施計画から主な取組を紹介します

- 昨今の教育課題の解決や、教育に対する福生市民の想いや願いの実現という視点を踏まえ、「令和における福生市立学校の在り方検討委員会」において、今後の福生市立学校における教育の在り方等を検討し、施策の立案や中・長期計画の策定に生かしていきます。
- 小学校第5学年児童及び中学校第2学年生徒全員を対象として「TOKYO GLOBAL GATEWAY」において実施する英語教育の体験型プログラムを通じ、「福生市英語教育推進計画」に掲げるグローバル人材としての資質や英語力の向上を図ります。
- 中央図書館の改修工事による休館に伴い、さくら会館に臨時窓口を開設します。また、郷土資料室の事務所機能の一部を旧ヤマジユウ田村家住宅に移します。
- 市民のスポーツ習慣の定着促進、健康増進、パラスポーツの理解促進及び普及啓発を図るため、令和3年度に引き続き、パラスポーツの指導者等を招いて体験会を開催します。

令和4年度教育費予算の内訳

令和4年度福生市一般会計予算 261億8千万円が3月の市議会定例会で認定され、そのうち教育費は13.6%の35億6,382万3千円の予算額となりました。



- 教育総務費 14億2,563万6千円**
教育委員会とその事務局、小中学校の教育指導に要する経費
- 小学校費 5億2,620万2千円**
学校の運営、学校施設の整備に要する経費
- 中学校費 3億1,562万1千円**
学校の運営、学校施設の整備に要する経費
- 社会教育費 10億2,160万2千円**
公民館、市民会館、図書館、プチギャラリー、茶室の運営や、青少年の健全育成、文化財保護などに要する経費
- 保健体育費 2億7,476万2千円**
体育館及び屋外体育施設の管理、スポーツの推進事業に要する経費

教育指導課の先生を紹介します

福生市教育委員会には、これまで、主幹(統括指導主事)が1人、指導主事が2人配置されてきました。令和4年度、指導主事が新たに1人増員され、4人体制となりました。指導主事は、小・中学校の教員の中から、教科等の専門性が高い教員が選考されて着任します。福生市の各学校を訪問し、学習指導、生徒指導等、専門的事項を指導・助言をする役割をもっています。どうぞよろしくお願ひします。



吉本一也 主幹



古川裕平 指導主事



田畑圭洋 指導主事



竹内秀礼 指導主事

令和4年度福生市立学校校長・副校長の人事異動

転入者及び市内異動(敬称略)

氏名	新任校	前任校
高瀬 智子	福生第一小学校校長	教職員研修センター主任指導主事
南方 孝之	福生第四小学校校長	瑞穂町立瑞穂第五小学校校長
泉田 巧人	福生第五小学校校長	練馬区立上石神井北小学校校長
山岸 史子	福生第七小学校校長	小金井市立小金井第四小学校副校長

氏名	新任校	前任校
浅井 博行	福生第二小学校副校長	福生第七小学校主幹教諭
田中 洋介	福生第一中学校副校長	福生第二中学校主幹教諭
平井 貞昭	福生第二中学校副校長	福生第一中学校副校長

転出者(敬称略)

氏名	前任校	新任校
林 宣之	福生第一小学校校長	退職
中野 幸子	福生第四小学校校長	退職
松下 正代	福生第五小学校校長	退職

氏名	前任校	新任校
長南 敦子	福生第七小学校校長	退職
古井 進	福生第二小学校副校長	武蔵村山市立雷塚小学校副校長
市川 拓治	福生第二中学校副校長	足立区立第十中学校副校長

問合せ 教育指導課教職員係 ☎5511-1944

寄附をいただきました

◆公益社団法人青梅法人会から書画カメラ9台が寄贈されました。この寄贈は、公益社団法人青梅法人会が小学生を対象に、税の意義・役割を正しく理解してもらい、税を通じた社会への関わりについて併せて考えてもらうために実施する「租税教室」の周知が目的とされています。今回寄贈された書画カメラは、ICTツールの一つとして、市内小学校の授業等で活用させていただきます。

問合せ 教育指導課 指導係 ☎5511-1538

◆青梅信用金庫から現金20万円が寄附されました。この寄附は「あおしん地域文化振興基金」により、青梅信用金庫営業区域内の本支店所在地の市町村の小・中学校を対象に文化・体育・スポーツの振興のための助成を行い、地域社会の発展に寄与することを目的とされています。

◆日本マクドナルド(株)から防犯ホイッスルが寄贈されました。ホイッスルは全小学校の新生児に学校を通じてお渡しします。

問合せ 教育支援課 学務・給食係 ☎5511-1948